

# 文学会講演会のご案内

講演テーマ「現代英語の謎を歴史で紐解く」

講師：中村不二夫

（関西外国語大学教授、愛知県立大学名誉教授、近代英語協会会長）

## <概要>

なぜchildとchildrenの-iの発音が異なるのか。worthとworthyの-thの発音が異なるのはなぜか。every other dayはなぜ「すべてのその他の日」でなく「1日おきに」の意味なのか。go-went-goneの活用の中で異質な綴り字のwentが過去形に収まっている理由はなぜか。このような疑問を感じたことはありませんか。今日その謎を解き明かします。そのほか、講演では、girlは昔「男の子」の意味でもあったこと、季節は昔autumnとspringはなかったこと、色の名の歴史、意味変化の話、be afraid ofはもともと受身形であったことなどを話します。さらに、国際会議発表の中から、「数詞の述べ方の変化—one and twentyからtwenty-oneへ」、「「そろそろ～してよい頃だ」の述べ方の歴史 *It's time {that you went vs. for you to go} to bed.*」のどちらかを披露し、コンピューターを利用した研究の醍醐味を味わっていただきます。※辞書または電子辞書を持参して下さい。

対象：学生・教職員・一般

開催日時：2022年1月14日（金）3限目 13：30～

場所：日進キャンパス 1号館 2階 1202教室

本学生・教職員のみオンライン参加可能 TEAMコード：wnzyp6n

問い合わせ先：英語英米文化学科 前田満（E-mail：m-maeda@dpc.agu.ac.jp）

